

行動管理目標

TASK	クリアすべき項目	具体的実施項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談窓口の設置・運営	<ul style="list-style-type: none"> より積極的に相談を受け入れしやすくするには具体的にどうするのか？ 過去の実績（2014年9月～15年6月）をふまえて目標値はどうするのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 相談シートの完成（利用・実施・評価） 各連絡会・機関との連携方法の確立 	シートの完成	各機関への広報・周知		窓口の役割分担を明確にする。 11月末締切。	事例検討		シートの評価	
広報・周知	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに載せた後の展開フォローをどうするか？ パンフレット作成後の具体的な広報活動は？ 連携室が何をしてくれるのか患者はわかっていない→周知させる具体的な活動を定める ホームページを区民、患者、家族が見て理解できるように分かりやすくするためには。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの完成（内容の検討） 各機関への広報のためのパンフレットの作成 各機関への訪問による広報 アクセス数のチェックによる評価 		9月完了 パンフレット完成、相談シート、患者状況把握シートアップ アクセス数91回	関連基幹病院紹介済み アクセス数132件。	大阪市会議、区民フォーラムのホームページアップ。 アクセス数260回 アクセス数215回	今後会議のアップ。事項の検討。 アクセス数215回	アクセス数302	アクセス数の統計 反応の確認	
情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> どこから情報を得られるか？情報源のリスト作成。 情報を受け入れやすくするためのシステム構築。 拠点事業で作成した冊子を評価しなおし、修正する。利用頻度をアンケートする。居宅などで作成しているものと重複がないか確認も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 各連絡会、機関の活動内容の把握 リスト作成にあたり各機関等との連絡調整 		<ul style="list-style-type: none"> 各連絡会、活動内容把握 アンケート作成・集計 各連絡会の求めている情報の理解、情報の集約、変更の窓口 	アンケート作成・集計、結果報告。	小学校区での区民アンケート→社協。包括との情報交換。			新しい情報リストに求められる事の明確化	
相談に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> 受けた相談に対して何らかの回答が出せるようにするには 	<ul style="list-style-type: none"> 各連絡会との役割分担 		<ul style="list-style-type: none"> 各連絡会でのコアメンバーでの役割、分担情報共有・交換会議の実施 実際の流れの構築 		参加後の振り返り。			流れの明確化	来年度の目標・課題の明確化
関係機関等との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 各種連絡会参加し情報収集・発表 歯科医師会の更新情報の調整 医師会在宅医療情報の更新 	<ul style="list-style-type: none"> 医師会内の連携、区内病診連携+歯科連携 歯科連携 横の連携の構築 		<ul style="list-style-type: none"> 医師会内でのDr 同士の連携支援 病院連絡会の支援（大今里ふれあいCLとの連携） 	区内病院・歯科連携開始。	包括の地域ケア会議に参加し相談室としての役割を明確化する。			<ul style="list-style-type: none"> 病院連絡会のまとめ 会議の継続実施 	
切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> 紹介患者状況把握シートを使っでの調査 患者が迷子（どこに行ったか分からない）にさせないためのシートにする。 病院連絡会を運用した相互の連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 紹介患者状況把握シートの完成（利用・実施・評価・修正） 毎月の会議を通じて診療所と病院の連携強化を図る 	シートの完成	<ul style="list-style-type: none"> 各機関への広報 医師会への広報 		各診療所への個別訪問、周知（30軒目標）			<ul style="list-style-type: none"> 患者追跡シートの評価 医師会Dr、HPへのアンケート 	
医療・介護関係者間の情報共有の支援	<ul style="list-style-type: none"> 医療介護連携シートの更新（居宅連絡会と協議） 介護からの入院時情報提供シート（居宅連絡会と協議） 	<ul style="list-style-type: none"> 見直しの必要性の把握。Dr、HPとの連携調整 		今後の方針の決定（強化型での利用の検討）		アンケート実施。入院時情報提供シートの更新。提供窓口のリスト提供。11/26迄に基幹HPも確認。	入院時情報提供シートについて病院からの意見収集。提供窓口の確認。	シートと情報提供にかかる方法の整理。提出先のリスト配布。	情報共有方法の確立に向けての結果検討と今後	
ケアマネージャーのスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> Drの専門分野の情報を把握する。 在宅療養関係の疾患について学習する。 									

相談日 平成 年 月 日

相談者区分	<input type="checkbox"/> 医療関係者 <input type="checkbox"/> ケアマネージャー	<input type="checkbox"/> 地域包括支援センター <input type="checkbox"/> その他	回答方法	<input type="checkbox"/> FAX回答 <input type="checkbox"/> 電話回答	<input type="checkbox"/> メール回答 <input type="checkbox"/> 郵送他
施設・事業所名称			担当者		
電話番号			FAX		
回答期日	平成	年	月	日	メールアドレス

相談趣旨	<input type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 介護				
必要なサービス等	<input type="checkbox"/> ケアマネージャー <input type="checkbox"/> かかりつけ医	<input type="checkbox"/> 介護保険申請 <input type="checkbox"/> 訪問歯科	<input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 薬剤管理	<input type="checkbox"/> その他 ()	

<患者情報>

フリガナ				性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
患者氏名							
生年月日	<input type="checkbox"/> 明治 <input type="checkbox"/> 昭和	<input type="checkbox"/> 大正 <input type="checkbox"/> 平成	年	月	日	満	歳
患者住所	大阪市東成区						
患者連絡先	<input type="checkbox"/> 家族同居 <input type="checkbox"/> 昼間独居 <input type="checkbox"/> 独居						
家族の連絡先	名前			TEL			
主治医	有一→	医療機関名				<input type="checkbox"/> 無	
		主治医名					
治療中の病名							
現在の病状							
医療ケア	<input type="checkbox"/> 中心静脈栄養 <input type="checkbox"/> 点滴 <input type="checkbox"/> 在宅酸素 <input type="checkbox"/> 人工肛門 <input type="checkbox"/> カテーテル <input type="checkbox"/> (無)						
現在の状況	<input type="checkbox"/> 入院中 <input type="checkbox"/> 通院中 <input type="checkbox"/> 訪問診療中 <input type="checkbox"/> 退院 <input type="checkbox"/> 退院予定 (月 日頃)						
介護認定の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明	要支援	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2	要介護			<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5
利用中の介護サービス(事業所名)	ケアプラン () 訪問看護 () <input type="checkbox"/> 訪問介護 <input type="checkbox"/> 通所リハ・介護 <input type="checkbox"/> 訪問リハ <input type="checkbox"/> 訪問入浴 <input type="checkbox"/> 施設入所 <input type="checkbox"/> 福祉用具 解れば [名称も]						
特記事項							

Tel 06-4306-3827

連絡先 Fax 06-4306-3829

E-mail renkei@higashinari-med.or.jp

<相談支援室 記入欄>

受付番号

各種連携シートのご案内

●医療・介護連携相談シートとは (医療・介護向け)

医療や介護に関する相談をシートにご記入の上、在宅医療・介護連携相談支援室にFaxまたは、E-mailでご連絡ください。かかりつけ医の紹介や回答など必要な機関とも調整を行いお答えします。シートは医師会ホームページ内「在宅医療・介護連携相談支援室」のところからダウンロードができます。



●紹介状状況把握シートとは (医師会向け)

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制をめざすため、患者を紹介した後の状況についての把握を行います。病院を紹介する際、かかりつけ医に戻れるまでの状況把握が必要と思われる患者については、情報提供書と紹介状患者状況把握シートを在宅医療・介護連携相談支援室にFAXをした上で、コピーを患者紹介状につけて病院に提出いただきますようお願いいたします。



●その他の連携シートのご案内

在宅医療・介護の連携につながるシートや情報を関係機関と相談しながら、作成していきます。完成したものは随時ホームページ内のダウンロードのページにアップしていきます。



東成区在宅医療・介護連携相談支援室のご案内



東成区医師会は、大阪市より「医療・介護連携相談支援事業」の委託を受けることになりました。この事業は、地域の医療・介護関係者などから高齢者の在宅医療・介護の連携に関する相談を受け付けるための窓口を設置し、連携調整、情報提供等の支援を行うことにより、多職種間の円滑な相互の理解や情報共有を行える体制を構築することを目的としています。

エイジング・イン・プレイス

住み慣れた場所で暮らし続けるために

各種シートは東成区医師会ホームページからダウンロードしてご利用いただけます

お問い合わせ先はこちら

東成区医師会 在宅医療・介護連携相談支援室
〒537-0014 大阪市東成区大今里西2丁目7番17号 東成区医師会内
TEL 06-4306-3827 FAX 06-4306-3829

インターネットの情報もご覧ください

<http://www.higashinari-med.or.jp/>

東成区医師会

東成区在宅医療・介護事業者の方へ

東成区医師会は在宅医療・介護連携相談支援室を開設します

在宅医療・介護連携相談支援室は、支援を要する高齢者などの区民が住み慣れた地域で生活を送ることができるよう、医療と介護の連携に係る業務を担う機関として、地域の医療機関、訪問看護事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など、医療・介護・福祉の関係機関と連携・協働し、地域の在宅医療・介護サービスに係る情報提供、相談対応、連絡調整などを行ないます。(平成27年8月から東成区にてモデル実施)

在宅医療・介護の連携に関する相談、なんでも伺います

平成23年より「地域医療連携室」を開設し活動をしてまいりました。東成区の皆さまが安心して、継続的な在宅医療・介護を受けることができるように、大阪市からの委託を受け、平成27年8月より、新たに「在宅医療・介護連携相談支援室」を設置することとなりました。「東成区在宅医療・介護連携相談支援室」では、介護支援専門員や看護師、医師がチームで対応いたします。主な事業内容は、①在宅医療・介護連携に関する相談に対する支援、②かかりつけ医の紹介、③区内医療・介護サービスの情報収集とリスト化、④切れ目のない在宅医療と介護連携体制の構築に向けた検討、⑤在宅医療・介護関係者間の情報共有の支援です。「在宅医療・介護連携相談支援室」は医療・介護の皆さまやそれぞれの役割を持つ方々の問題解決のお手伝いをさせていただきます。皆様のご利用をお待ちしております。

東成区在宅医療・介護連携相談支援室のご案内

①受付日・時間

月曜日～金曜日の午前9時～午後5時
(祝日、年末年始はお休み)



③相談対象

東成区内の介護保険の被保険者を支援する地域包括支援センター、居宅介護支援事業者、訪問看護ステーション、病院の地域医療連携室、病院・診療所などの医療機関などの在宅医療・介護サービス提供者です。

②相談受付

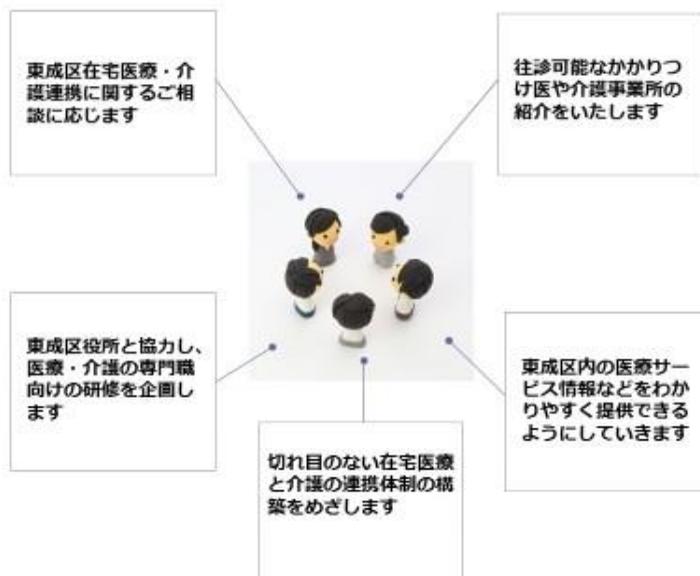
電話、FAX、E-mailにて承ります。相談は、医療機関、介護事業所などの関係者の方を対象としております。
(TEL) 06-4306-3827
(FAX) 06-4306-3829
(E-mail) nenkei@higashinari-med.or.jp

④支援の範囲

東成区の医療介護サービスを受けている方又は受ける予定の方。介護2号被保険者の場合は、特定疾患に該当している方に関する相談や、医療・介護連携に関する相談に対応いたします。

東成区の在宅医療・介護の連携をサポート

医療機関・介護サービス事業者からの相談にお答えしていきます
在宅医療・介護に関する相談、なんでも伺います
お気軽にお声がけください



東成区在宅医療連携ガイドブックについての アンケート



*すげがさ事業で作成したガイドブックについてお聞かせください

1. ガイドブックを利用されていますか。

よく利用している 利用している どちらでもない 利用していない 全く利用していない

()

2. 利用いただいた方に伺います。ガイドブックのボリュームはどうでしたか。

情報が多すぎる ちょうどよい どちらでもない 情報が少ない 情報が少なすぎる

()

3. 利用いただいた方に伺います。どの部分を活用されましたか。活用した順に番号を入れてください。

()医療機関情報 ()歯科医院情報 ()保険調剤薬局 ()介護事業者情報 ()施設情報

()

4. 医療機関の情報の中で役に立った情報はどの部分でしたか。

医療機関基本情報 在宅医療の取り組み 医師との面談方法優先順位

担当者会議への医師の参加 面談可能な時間帯 多職種の方への要望

()

5. 歯科医院情報の中で役立つ情報はどの部分でしたか。

歯科医院の基本情報 診療時間等 訪問診療情報 事業所の特色

()

6. 保険調剤薬局情報の中で役立つのはどの部分でしたか。

薬局の基本情報 訪問指導・麻薬の届出等の対応情報 事業特色 災害時の対策支援

()

7. 介護事業所情報の中で役立つのはどの部分でしたか。

事業所基本情報 事業所の特徴 体制加算 呼吸器等の受け入れ情報 災害時の在宅支援

()

8. 利用されなかった方に伺います。利用されなかった理由はなんでしょうか？

手元にないから 持ち歩きに不便 更新されないから 必要な情報がないから 使いにくいから

()

9. 今後、ガイドブックの更新を希望されますか

大変希望 希望する どちらでもない 希望しない 全く希望しない

()

最後に、記入いただきました方の所属・お名前の記入と保有資格にしるしをお願いいたします。

所属

担当者

保有資格：医師・歯科医師・薬剤師・看護師・各種療法士・ケアマネージャー・ヘルパー・社会福祉士
介護福祉士・精神保健福祉士・柔道整復師・それ以外の資格 ()

お手数ですがこの票を記入いただき9/30までに4306-3829にFaxでご回答をお願いします

ご協力ありがとうございました。